

在日大韓基督教会
宣教100周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
(데살로니가전서 5:18)

東京教会が創立100周年を 記念式典を開催し、1200名が参席



2月11日、東京教会の創立100周年記念式典が、九段会館(東京都千代田区)において開催された。式典では、東京教会の信徒をはじめ、在日大韓基督教内外からの来賓など約1200名が参席し、東京教会に与えられた「百年の恵み」に感謝をささげる中、

創立100周年を盛大に祝った。
東京教会では、鄭益魯長老が平壤から辞書を編纂するために日本に滞在していた時に、金貞植・東京朝鮮YMCA総務や10数名の学生と共に、YMCAとは別に教会を設立することによって創立年である1908年を創立年としている。教会の設立を決定した日の正確な日付はわかっていないため、東京教会では、1946年に東京にあった7教会が合併し、東京教会を再建するための記念礼拝をもつた日が2月10日であったことから、毎年2月の第2主日を創立記念日と定めている。創立100周年記念式典前日の2月10日の主日には、創立100周年記念主日の礼拝がもたれた。

式典では、第一部として記念礼拝(司会・吳大植牧師)がさげられ、在日大韓基督教の信仰告白前文と使徒信条の告白、東京教会合同聖歌隊による讃美があった。鄭然元総会長が「新しい歴史を創造する教会」(エレミヤ29:4-7)と題したメッセージを行った。

メッセージの中で鄭然元総会長は、まず、東京教会の100年の歴史が在日大韓基督教の歴史でもあることに触れた。また、祖国や日本国内における分断状況や、差別の中にあつた在日コリアンに対して、東京教会が福音をもつて自由の宣言を行ってきたことに触れ、50年に一度のヨベルの年を二度刻むことになる創立100周年を迎えた東京教会には、この世に向けて、罪からの解放の宣言を行い、御国を上げる使命が与えられていると語った。また、エレミヤ書29章の言葉をもとに、東京教会に対して、「新しい歴史をつくっていくべきこの時点で神さまから与えられた御言葉は、この地のために祈る

た。その後、来賓紹介が行なわれ、東京教会で奉仕した牧師や、カナダ長老教会からの元宣教師たちが、東京教会との関わりを含めて紹介された。鄭益魯長老や東京教会の初代の領袖であった曹晩植氏の親族の紹介があった。また、ハワイ・キリスト連合監理教会の男性合唱団による特別讃美の後、東京教会のこれまでの歩みを写真で追うスライド上映と、ヴァイオリニストの丁讃宇氏を招いての讃美音楽会が行われた。

「和解」やキリスト教的な「犠牲」をテーマにした音楽会では、統一への思いを込めた曲である「なつかしの金剛山」や「イムジン河」のほか、「鳳仙花」などが演奏され、一つひとつの曲に込められたメッセージとヴァイオリンの響きが聴衆の心をふるわせる至福の時となった。

その後、第三部として、祝賀パーティーが行われた。パーティーでは、金信榮勳士(全国教会女性連合会会長)と金漢範長老(全国長老会会長)の祝辞があった。当日の参席者には、東京教会内外の牧師や長老たちが東京教会のビジョンについて書いたものをまとめた『100周年記念文集』などが配られた。なお、東京教会では、創立100周年事業として、『100周年史』や『100周年写真集』(DVD版)の発行のほか、今年中に関東地方会の協力を得ての音楽会や一人芝居、記念バザー、伝道集会を開催することなどを予定している。また、100周年を記念して開拓教会を一つたてることも予定されている。

全協が青年研を開催 犬養光博牧師を講師に学ぶ

2月11、12日、青年会全国協議会(全協)の第8回「青年のための研修会」が、主題「誠実をもって神に、共感をもって人に」、副題「他でもないわれわれが出会う、この唯一の世界を生きて」のもと、サンパレア瀬戸(愛知県瀬戸市)において開催された。参加者は、39名であった。

研修会は、KCCJ信徒委員会の金必順委員長の「春を先駆ける」(IIコリント4:16、18)と題したメッセージによる開会礼拝

によって始まった後、朱喜哲代表委員による主題見解が行われた。主題見解は、人を数値化や序列化し、モノとして分断する「力」の原理に翻弄される中、青年会での交わりと共感において救われた朱代表委員の自

ら、主題見解をもとにそれぞれの立場から、主題見解をどう聞いたかをめぐり、活発な意見交換がもたれた。その後、晩祷と交流会をもつて一日目のプログラムを終えた。

二日目は、炭鉱地域であった筑豊で牧会活動を行っていた大養光博牧師(日本基督教団福音伝道所)による、前日の主題見解で提起されたさまざまな論点をもとにした主題講演が行われた。炭鉱の重労働を生きていく人びとの何気ない会

話や、公害被害者の身をける思案と活動から、キリストの神の存在を逆に教えられたという犬養牧師の講演は、信仰のあり方と社会参加の関係を私たちに深く考えさせるものであった。

引き続き、分団協議の時間をもつた後、分団で話し合われたことを各分団がさまざまな形式(演劇や絵など)で発表し、共に分かち合う時間をもつた。そして研修会は、閉会礼拝をもつて終了した。

今回の研修会は、多くの初参加の青年を迎える中、参加者たちが共に深く語り合う時間をもつことができた。また、「私」と「神」との関係と、それを通じた他者との関係のあり方などに

ついて深く考えることができた有意義な研修会であった。

(報告・金翰那)

在日大韓基督教会・日本キリスト教会
宣教協約締結10周年記念共同テキスト
『ウリエイウスン』
(わたしたちの隣り人はだれですか)
編集：在日大韓基督教会・日本キリスト教会
共同テキスト委員会
定価：350円(送料80円)
※お申込みは、総会事務局へ
TEL. 03-3202-5391

公告
今年2008年は、在日大韓基督教
宣教100周年を記念する年です。
이에 우리 총회는 그간 우리 총회에서
懲戒処分을 받았었던 분들을 기억하며
解罰을 원하시는 분들을 기원할 수 있도록
공고합니다. 총회로 3월31일까지
願書を提出하시기 바랍니다.
今年2008年は、在日大韓基督教
の宣教百周年を記念する年です。
総会は、いままです総会から懲戒処分を
受けられた方々を記憶し、解罰を望まれ
る方は請願できるように公告いたします。
総会へ3月31日までに請願書を提出して
ください。よろしくお願いいたします。
2008年3月1日
在日大韓基督教
総会長 鄭 然 元

李清一（歴史編纂委員会）



「栄光は神にあれ」神は朝鮮民族の救いの為、織田橘次(田永福)牧師を選び給うた。使命を受け、彼は神の愛と救い主キリストの忍耐をもって民族を愛し全ての困難を克服して伝道の生涯を全うせり」

に京都教会を辞任するまでの22年間視務した。その後、宣教10周年計画委員会総幹事、伝道局幹事などを歴任した後、1980年11月27日に天に召された。享年72歳であった。京都教の故・金在述長老は、田中福牧師は、私たちの痛みと一緒に担ってくれた日本人であった」と述懐している。

서 죽으시고忍耐하신 예수 그리스도를 바라보십시오. 人生의 길이 막혔다고 느낄 때마다, 우리를 잘 아시고 사랑하시는 예수 그리스도를 바라보십시오. 모든逆境은 예수님의 참사랑을 알기 위한過程임을記憶하고 앞으로前進하시기 를 祝願합니다.

것을 알고 계셨기 때문에
지체하신 것이라고 생각하
나.

사랑하는 聖徒 여러분
사랑은 苦難과 忍耐가 要
求되며 必要한 要所입니
다. 이것을 통해서 우리는
참 하나님을 알 수 있었고
예수님의 사랑을 느낄 수
있습니다. 힘들고 어렵다
고 느낄 때마다 十字架에

11 1 5 7

죽게 되었는데 예수님의 마음은 아프지 않았겠습니까? 아프시고 슬퍼하셨을 것입니다. 그러나, 중요한 것은 그 모든 일이 하나님 榮光을 위한 것이라는

(名古屋教会 長老)

(福岡中央教会 長老)

TEL (0564) 31-8893(代)

部会 西地 信徒修養会を開催 講師に小島誠志牧師を招く

2月10、11日、兵庫県赤穂市赤穂ハイツにて、第19回西部地方会信徒修養会が、伝道部と教育部の共催で行われた。講師に小島誠志牧師(日本基督教団松山番町教会・前教団総会議長)を迎え、主題「日本伝道の今日と明日」のもと開催された修養会には、大人50名、子ども7名の参加があった。



修養会では、妻明徳牧師(神戸東部)のメッセージによる開会礼拝をもつた後、「種を蒔くもの」と題した第一講演が行われた。講演は、どんなに厳しい状況に置かれても種を蒔くことが大切であるとの強い内容のものであり、時が経つのも忘れるほど、恵みを受けた時間となった。

一日目は、権寧国牧師(神戸)のメッセージによる早天祈禱会があった後、第二講演が行われた。「日本伝道」(マタイ10:1、23)と題した講演では、伝道とはまず聞くことから始まり、聞くことによって何を蒔くか、何を捨てるかが示されることや、毒麦のたとえは毒麦を抜くことは神に任せるべきであることを示していること、キリストに叫び求めることによって教会が生きていくことなどを、具体的に分かりやすく説く内容であった。また、小島牧師によるハモニカ演奏もあった。

閉会礼拝では地方会会長の中江洋一牧師(広島)がメッセージを行った。

今回の修養会は、海が目の前に広がる海岸の大自然に抱かれる中、今も生きて働き、私たちが愛してくださる神を感じ、心から喜びと感謝に溢れる機会となった。また、参加者間の交わりも深めることができた素晴らしい修養会であった。(報告・梁榮友)

東会 諸職修練会を開催 「牧会同役者としての諸職」について学ぶ

1月29、30日、関東地方会諸職修練会が東京教会を会場として開催された。講師には、韓国の慶州第一教会の担任牧師である鄭永澤牧師を迎え、「牧会同役者としての諸職」とのテーマのもと、2回にわたるメッセージを開いた。参加者は二日間、延べ約350名であった。

一日目は、フィリピの信徒への手紙2章19節から30節の御言葉に基づいたメッセージであった。鄭牧師は、牧会的意味における指導力とは、自分の影響力を他人に誇示することではなく、神に喜ばれることに忠実であることを意味すると述べた。また、指導力には中心的指導力と協力的指導力があり、それは、まさに牧会者と諸職の関係であることなどを語った。

二日目は、ルカによる福音書5章1節から11節の御言葉をもとに恩恵的(恩恵的)関係の大切さについて説いた、示唆に富む内容の話がなされた。

2回にわたる集会を通して、参加者が大きな恵みを受けた修練会であった。

張要世牧師の委任式 西部地方会福山伝道所で挙行

2月1日、西部地方会福山伝道所において、張要世牧師の委任式が、約50名が参席する中で行われた。式は、臨時堂会長の梁榮友牧師(岡山)の司会で行われ、金鐘權牧師(明石)の祈り、李相勳牧師(川西)の聖書朗読(ルカ10:1、12)、妻明徳牧師(神戸東部)による「収穫のために働き手を送ってください」と題した説教があった後、地方会長の中江洋一牧師(広島)の司式により、牧師委任式が執り行われた。

委任式では、委任牧師に李聖雨牧師(武庫川)が、教友に朴慶鎬長老(姫路葉水)がそれぞれ勸勉を行った後、鄭然元総会長(大阪、権寧国牧師(神戸)、文南奎長老(派遣教会である韓国の七中央教会、本竜晋牧師(日本基督教団福山)から祝辞があった。その後、張要世牧師による答辞の後、委任された張要世牧師の祝辞で式を終えた。

張要世牧師は、1957年韓国生まれ。韓国啓明大学師範大学日本語教育科および大神総会神学大学院を卒業。伝道師、講道師を経た後、大韓イエス教長老会安養老会で牧師助手を受けた。その後、宣教師として派遣され、2007年5月に

在日韓国YMCA 2・8独立宣言記念式を開催 2・8独立宣言記念資料室の懸板式も行う

3・1独立運動の導火線として知られる、東京の留学生による2・8独立宣言の第89周年記念式が、宣言の舞台となった在日韓国YMCAにおいて、250名の参加者を集め、今年も2月8日に行われた。

申鉉錫牧師(東京グローリア教会名誉牧師)による「2・8独立宣言の歌」で開会し、国民義礼、殉国先烈への黙祷の後、李鍾善YMCA理事長が開式辞を述べた。来賓の金興傑国家報勳処次長、柳明恒駐日大使より記念辞をいただき、金廣照YMCA副理事長が聖書

開読(詩篇33:8、12)を奉読、洪性完牧師(関東地方会会長)が祈禱をささげた。そして、2・8独立宣言文が、林成勳・在日韓国留学生連合会会長により朗読され、正義と公正のために命を懸けた青年たちの思いを各自が心に刻んだ。

来賓による式辞、YMCA会員によるヴァイオリンとピアノ演奏に続き、表用垣元老牧師(ソウルYMCA名誉理事長)の祝辞、金宗洙・在日韓国青年会副会長の先唱による万歳三唱で式典は幕を閉じた。この春

開設される「2・8独立宣言記念資料室」の懸板式も行われた。

YMCAでは、毎年2・8独立宣言記念式を主催しているが、今後は資料室での恒常的な展示、資料公開によっても、留学生による独立運動の歴史的意義、さらには関東大震災での朝鮮人虐殺事件に関する事実を広く紹介し、共生社会実現の土台となる韓日両国民の近代史認識の形成と共有のための働きを担いたいと考えている。

(報告・田附和久)

2・8独立宣言 第89周年記念式
2008年2月8日 在日韓国YMCA



2・8独立宣言 第89周年記念式
2008年2月8日 在日韓国YMCA



♥真心をこめて出会いから結婚まで♥
芦屋ルツ結婚相談所
代表者 崔貞淑
(神戸東部教会勸士)
“素敵なクリスチャンの男性が
クリスチャンの女性をさがしています。”
お気軽にお電話ください。
TEL (0797) 34-6814
FAX (0797) 38-6868

YMCA 在日同胞文化の創造と多文化共生社会を目指して
2006年4月25日、創立100周年を迎えました。

- ◆東京で一番安く便利な宿泊研修施設(ホテル)：フロントは日・韓・英語に対応、24時間サービス。10名様から220名様の会議及び宿泊研修(50名様)も可能。
- ◆スペースワイホール：220席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適
- ◆韓国文化(チャング・カヤグム・舞踊)教室・韓国語講座・各種こどもクラス
- ◆YMCAアジア語学院(日本語学校) ※会員及び教職者割引有

(税込)	平日	休・休前日
シングル	¥6,300	¥5,040
ツイン	¥11,550	¥9,240
トリプル	¥14,490	¥11,592

朝食¥200 カルピックス、コムタン、ユッケジャン、韓定食、洋食(全メニューコーヒータン付き)

在日韓国YMCA
http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/

東京韓国YMCAアジア青少年センター
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5 TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633
関西韓国YMCAアジア青少年センター
〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782

コラム

私たちの教会にオハナヨ!

<12> 福岡中央教会



私たちの教会は、1985年7月、福岡市内では、在日大韓基督教として二番目に創立されました。教会は、日本基督教団との共同プログラムを行うよう準備された、西南KCC福岡

5年7月、福岡市内では、在日大韓基督教として二番目に創立されました。教会は、日本基督教団との共同プログラムを行うよう準備された、西南KCC福岡

また、教会に集められた者たちが、それぞれ良き賜物を用いていました。教会学校、聖歌隊、女性会、青年会と着々と充実していき

現在、3年前に金明均牧師が2代目牧師として赴任されました。本日から、これからの、信徒一人ひとりが、イエスさまの恵みにふれて、喜びと感謝をもって、主に仕える者となるように、そして地域の人の健全な発展のために力を合わせています。

教会員は、在日1、2、3世、新1、2世、駐在員家族、留学生、日本人で、現在、50名前後で主日礼拝をささげています。最近では、若者たちが、フルートやチェロを用いて礼拝を共に

教会員は、在日1、2、3世、新1、2世、駐在員家族、留学生、日本人で、現在、50名前後で主日礼拝をささげています。最近では、若者たちが、フルートやチェロを用いて礼拝を共に



西部教会女性連合会
会長会議・一日研修会
朴恩塾牧師を講師に信仰生活学ぶ

西部地方教会女性連合会主催による2008年度会長会議・一日研修会が、1月29日、西宮教会にて開催され、30名が出席した。

午後からの研修会では、講師の朴恩塾牧師(神戸東部)による「主の道を用意する者」(ルカ3:3-6)と題しての講演があった。

そして、「では、私たちはどうすればよいのですか」と考え、行動することが宿題として参加者に与えられ、一年で通読できるように一覧表が朴牧師より配られ



西部青年会が総会開催
新会長に林高志氏を選出

講演後は、西宮教会女性会がつくってくださった

温かいゼンザイを食し、寒い日であったが、心まで温かく、梅の花が咲くような

幸せな想いにひたる一時を過ごした。

副会長・李相信(武庫川) 書記・朴美恵(神戸東部) 報告・梁榮友(梁榮友)

総幹事活動日誌

西部地方教会連合青年会の2008年度総会が2月17日、神戸東部教会で開催された。神戸教会4名、武庫川教会2名、神戸東部教会9名、教役者1名の計16名

引き続き、第二部の総会が行われた。総会では、2007年度の活動報告および会計報告があった後、役員改選が行われた。

新しい役員は次の通りである。 会長・林高志(武庫川)

住所変更

●李炳燮牧師宅 〒573-0064 大阪府枚方市北中振1-23-22 電話・FAX 072-835-8177 ●張要世牧師宅 電話・FAX 084-971-7694

韓日讃頌歌

一第7版(改訂版)一

- 韓国語と日本語を見開き2ページに掲載
- 表紙カバーは2色(紺・茶)
- 5冊以上は、送料無料
- ※お申込みは、総会事務局へ 電話:03-3202-5398

『在日大韓基督教教会
宣教90周年記念誌』

- 78の個教会・伝道所の歩み
- 5地方会の歴史
- 青年会・女性会の歴史
- 宣教90年の歴史年表(口絵7ページ/本文438ページ)
- 定価●4500円(送料含む)
- ◆お申し込みは、各教会に。